

財務諸表論

直前予想答練第1回

—答案用紙—

会員 番号							
氏名(カナ)							
第一問				第二問		第三問	合計
/25				/25		/50	/100

(注)氏名はカタカナでのみ記入をお願いします

[第 一 問]

1

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	

2

3 (該当する方を○で囲むこと)

情報提供機能	・	利害調整機能
--------	---	--------

4

5

6

7

事業投資

金融投資

[第 二 問]

1

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧			

2

3

4

5

6

[第 三 問]

問 1 北鎌倉株式会社の第36期における貸借対照表及び損益計算書

貸 借 対 照 表

2022年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	()	流動負債	()
現金預金		支払手形	
受取手形		買掛金	
売掛金		1年以内償還社債	
クレジット売掛金		未払金	
商 品		未払法人税等	
貯 蔵 品	110	未払消費税等	
		短期固定資産購入支払手形	
貸倒引当金			
固定資産	()	固定負債	()
有形固定資産	()	社 債	
建 物		長期借入金	305,000
車両運搬具		退職給付引当金	
器具備品		営業保証金	5,500
土 地	206,725	負債の部合計	
建設仮勘定		純資産の部	
無形固定資産	(14,200)	株 主 資 本	()
ソフトウェア	14,200	資 本 金	50,000
投資その他の資産	()	資 本 剰 余 金	(9,200)
投資有価証券		資 本 準 備 金	9,200
関係会社株式		利 益 剰 余 金	()
長期預金		利 益 準 備 金	
差入敷金保証金		その他利益剰余金	()
破産更生債権等		別 途 積 立 金	
繰延税金資産		繰越利益剰余金	
貸倒引当金		自 己 株 式	
繰 延 資 産	()	自己株式申込証拠金	
社債発行費		評価・換算差額等	()
		その他有価証券評価差額金	
		純資産の部合計	
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	

損 益 計 算 書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	2,633,500
売上原価	
売上総利益	
販売費及び一般管理費	
営業利益	
営業外収益	
受取利息及び配当金	
仕入割引	550
雑収入	1,100
営業外費用	
支払利息	
株式交付費	
雑損失	800
経常利益	
特別利益	
保険差益	
特別損失	
貸倒引当金繰入額	
税引前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	
法人税等追徴税額	
法人税等調整額	
当期純利益	

問2 株主資本等変動計算書

① 千円 ② 千円 ③ 千円

④ 千円

問3 個別注記表 ※ () に適切な用語又は金額を記入すること

1 会計方針の変更に関する注記		
①	会計方針の変更の内容	
	商品の評価方法を総平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法) から ()	
	による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法) に変更した。	
②	会計方針の変更の理由	
	この会計方針の変更は財政状態の適正開示のため、たな卸資産の貸借対照表価額と () との	
	乖離を減らすことを目的として行ったものである。	
③	当該事業年度の期首における純資産額に対する影響額	
	この会計方針の変更は遡及適用され、会計方針の変更の累積的影響額は当事業年度の期首の純資産の帳簿	
	価額に反映されている。この結果、株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は	
	() 千円増加している。	
2 株主資本等変動計算書に関する注記		
①	当該事業年度の末日における発行済株式の数	普通株式 () 株
②	当該事業年度の末日における自己株式の数	普通株式 () 株
③	当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項	配当の総額 () 千円